



平成28年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年9月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社くらコーポレーション
 コード番号 2695 URL <http://www.kura-corpo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 田中 邦彦
 (氏名) 津田 京一

TEL 072-368-6211

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年10月期第3四半期の連結業績(平成27年11月1日～平成28年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年10月期第3四半期	84,015	8.6	4,897	13.0	5,022	4.7	3,197	6.1
27年10月期第3四半期	77,366	7.3	4,335	8.3	4,798	12.7	3,014	21.3

(注)包括利益 28年10月期第3四半期 3,112百万円 (△1.1%) 27年10月期第3四半期 3,147百万円 (25.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年10月期第3四半期	161.94	—
27年10月期第3四半期	152.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年10月期第3四半期	44,708	29,040	65.0
27年10月期	42,057	26,322	62.6

(参考)自己資本 28年10月期第3四半期 29,040百万円 27年10月期 26,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00
28年10月期	—	0.00	—		
28年10月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年10月期の連結業績予想(平成27年11月1日～平成28年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,028	4.5	6,080	3.5	6,500	1.4	4,167	0.4	211.06

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年10月期3Q	20,699,800 株	27年10月期	20,699,800 株
28年10月期3Q	956,720 株	27年10月期	956,720 株
28年10月期3Q	19,743,080 株	27年10月期3Q	19,743,080 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成27年11月1日から平成28年7月31日)におけるわが国経済は、雇用環境の改善や原油安などのプラス要因もありましたが、引き続き個人消費に弱さがみられ、景気は踊り場局面を継続いたしました。

外食産業におきましては、競合他社の積極的な出店による影響に加え、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇など、引き続き厳しい環境が続いております。

当社グループは、新鮮でおいしく、安全なお食事をしていただけるよう、さまざまな取り組みをしております。どれだけ良質な魚を仕入れても、お客様の口に運ばれるまでに安全性が損なわれたり、鮮度が落ちるとムダになります。当社は衛生管理部による日々の安全性のチェックに加え、従業員が素手で商品に触れないオペレーションを確立しております。さらに出来立ての商品をすばやく提供できる「オーダーレーン」、大手回転寿司では唯一となる、菌やウイルスから商品を守り、鮮度を保つ寿司キャップ「鮮度くん」などを活用し、お客様に安心・安全なお食事いただけるよう「見えないところを大切に」商品提供しております。

当第3四半期連結累計期間におきましても、お客様の満足度を高めるべくさまざまな商品提案を行いました。

5月には、新たな夏の定番メニューとして「7種の魚介だれ 冷やし中華はじめました(税抜350円)」を新発売いたしました。7月には累計300万杯を販売した人気メニュー「すしやのシャリカレー」シリーズ第二弾、「シャリカレーうどん」「シャリカレーうどん(甘口)」（各税抜350円）を新発売いたしました。アメリカ店舗向けメニューとして開発した、「揚げシャリ(クリスピーライス)」をトッピングし、外はカリカリ、中はもちもちとした食感が新しいと、ご好評いただいております。7月には「すしやのシャリカレー」シリーズ第三弾、大手回転寿司では初めてとなる「揚げたてパン」を用いた「シャリカレーパン(税抜150円)」を発売し、好調な滑り出しとなっております。

7月にはさらに、米麹から製造した甘酒を原料に、世界初となる炭酸飲料「シャリコーラ(税抜180円)」を新発売いたしました。甘酒には酒粕を原料としたものと、アルコールを全く含まない米麹由来のものがありますが、米麹由来の甘酒は全9種の必須アミノ酸を全て含み、江戸時代から健康飲料として親しまれてきました。当社ではかねてよりお客様から「炭酸飲料」のニーズは強くいただいておりますが、当社の創業以来の理念、『四大添加物(化学調味料・人工甘味料・合成着色料・人工保存料)』を完全に排除した商品に、コスト面などを含め当社の基準に合致する炭酸飲料が無く、今回自社開発したものです。お米の自然由来のやさしい甘みと、まるやかな口当たりが美味しいと大好評をいただいております。

販売促進面では、人気寿司ネタの「ふぐ」、「かに」、「熟成まぐろ」の極上ネタをご提供するフェアを毎月実施いたしました。5月の「極上ふぐフェア」におきましては、大手回転寿司チェーンでは珍しい「とらふぐ(税抜200円)」を発売し、お客様にご好評をいただきました。また、フェアに合わせて人気アニメ「ワンピース」とタイアップし、「オリジナルストラップ」などグッズが当たるキャンペーンを実施致しました。

以上のような諸施策を行いました効果もあり、既存店売上高につきましては当第3四半期連結累計期間で、前年同期比102.0%と堅調に推移いたしました。

店舗開発につきましては、西日本地区で9店舗、東日本地区で3店舗の計12店舗を新規出店し、移転のため1店舗閉店した結果、国内店舗数は376店舗(無添蔵4店舗を含む)となりました。

米国子会社「Kula Sushi USA, Inc.」におきまして、カリフォルニア州以外で初めて、テキサス州に出店いたしました。5月にテキサス州北東部のダラス市近郊プレーノ市に、米国10番目となる「プレーノ店」をオープンいたしました。「プレーノ店」は日本式システム(タッチパネル、ビックラポン、オーダーレーンなど)を導入し、米国では初めてとなる「フルサイズ(日本国内店舗と同じ)」規格での出店です。オープン以来、しばしばウエイティングが発生するなど、好調に推移しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は、全て直営で390店舗(「無添蔵」4店舗、米国10店舗、非連結子会社の台湾4店舗を含む)となりました。

また、米国既存店につきましては、6月に「ソーテル店」、7月に「ブレア店」を日本式システム導入店舗に改装し、大きく売上を伸ばしております。7月にはテキサス州2店舗目、米国11店舗目となる「キャロルトン店」をオープンいたしました。今後とも米国におきましても日本式システムの店舗を順次出店してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は840億15百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益48億97百万円(同13.0%増)、経常利益50億22百万円(同4.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は31億97百万円(同6.1%増)となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は、447億8百万円となり、前連結会計年度末と比較して26億50百万円の増加となりました。これは、主に流動資産の現金及び預金が11億39百万円、有形固定資産の建物とその他がそれぞれ3億44百万円と5億34百万円増加した一方で、無形固定資産が1億77百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して66百万円減少し、156億67百万円となりました。これは、主に買掛金が6億30百万円増加した一方で、未払法人税等が5億26百万円、流動負債のその他が3億97百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が28億2百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して27億17百万円増加し、290億40百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月11日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当該変更が当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」

(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.26%から平成28年11月1日及び平成29年11月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年11月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.62%となります。

なお、当該変更が繰延税金資産及び法人税等調整額に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,240,315	10,380,237
原材料及び貯蔵品	648,857	698,055
その他	1,322,094	1,007,655
流動資産合計	11,211,266	12,085,948
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	13,187,199	13,531,467
その他(純額)	8,093,524	8,628,032
有形固定資産合計	21,280,723	22,159,499
無形固定資産	557,273	379,653
投資その他の資産		
長期貸付金	3,479,765	3,614,305
差入保証金	4,022,606	4,124,533
その他	1,505,881	2,344,324
投資その他の資産合計	9,008,253	10,083,163
固定資産合計	30,846,251	32,622,317
資産合計	42,057,517	44,708,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,246,631	4,877,120
1年内返済予定の長期借入金	200,000	50,000
未払金	3,632,729	4,108,328
未払法人税等	1,248,297	721,998
その他	2,629,538	2,231,803
流動負債合計	11,957,196	11,989,251
固定負債		
リース債務	2,179,637	2,029,561
資産除去債務	1,343,342	1,402,898
その他	254,513	245,990
固定負債合計	3,777,493	3,678,450
負債合計	15,734,690	15,667,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005,329	2,005,329
資本剰余金	2,334,384	2,334,384
利益剰余金	24,145,602	26,948,018
自己株式	△2,353,421	△2,353,421
株主資本合計	26,131,894	28,934,311
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	190,932	106,252
その他の包括利益累計額合計	190,932	106,252
純資産合計	26,322,827	29,040,563
負債純資産合計	42,057,517	44,708,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年11月1日 至平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年7月31日)
売上高	77,366,836	84,015,646
売上原価	35,575,787	38,591,785
売上総利益	41,791,049	45,423,860
販売費及び一般管理費	37,455,505	40,526,809
営業利益	4,335,543	4,897,051
営業外収益		
受取利息	48,447	45,825
受取手数料	246,224	249,156
為替差益	140,282	—
物販収入	114,103	144,811
雑収入	32,664	26,077
営業外収益合計	581,722	465,871
営業外費用		
支払利息	42,960	32,885
為替差損	—	196,750
物販原価	60,747	89,683
雑損失	15,527	21,528
営業外費用合計	119,236	340,847
経常利益	4,798,029	5,022,074
特別損失		
固定資産除却損	7,184	36,527
店舗閉鎖損失	3,600	41,952
減損損失	—	15,796
特別損失合計	10,784	94,276
税金等調整前四半期純利益	4,787,245	4,927,797
法人税、住民税及び事業税	1,636,117	1,647,317
法人税等調整額	137,106	83,202
法人税等合計	1,773,224	1,730,520
四半期純利益	3,014,021	3,197,277
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,014,021	3,197,277

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年11月1日 至 平成27年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年11月1日 至 平成28年7月31日)
四半期純利益	3,014,021	3,197,277
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	133,963	△84,680
その他の包括利益合計	133,963	△84,680
四半期包括利益	3,147,984	3,112,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,147,984	3,112,597
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。